

東京都立大学哲学科（首都大学東京哲学コース）

## 2006年度卒業論文・修士論文中間発表会

日時：11月7, 8, 9日、3・4・5限

場所：11月7日：5-143教室(人文学部会議室)、11月8・9日：5-416教室(哲学演習室)

11月7日（火）	①13:00-14:00 持田貴士 パウロにおける罪の問題について——序論 パウロの取る視点とは何か ②14:00-14:45 平賀直哉 ウィトゲンシュタインの「規則遵守」について ③14:45-15:45 橘 悟史 間接話法文の並列的な分析についての考察
11月8日（水）	①13:00-14:00 関本初穂 自然と技術の類比について——アリストテレスにおける目的因果性の理解のために ②14:00-14:45 江並健一 アリストテレスの倫理学について ③14:45-15:45 福西亮輔 苦き恋(amore amaro)——ジョルダノ・ブルーノ『英雄的狂気』について ④15:45-16:30 小野光一 ニーチェの永遠回帰について
11月9日（木）	①15:00-15:45 湯谷 源 メディア論 ②15:45-16:45 細川洵吉 アリストパネスの『雲』とコロス ③16:45-17:45 古澤香乃 『イーリアス』に於ける武勇譚

※9日(木)のみ15:00より開始します。ご注意ください。

※日によって会場が異なるのでご注意ください。11月7日のみ5-143で、それ以外は5-416で開催します。

※5-143教室(人文学部会議室)は、5号館を入ってすぐ左手の教室です。